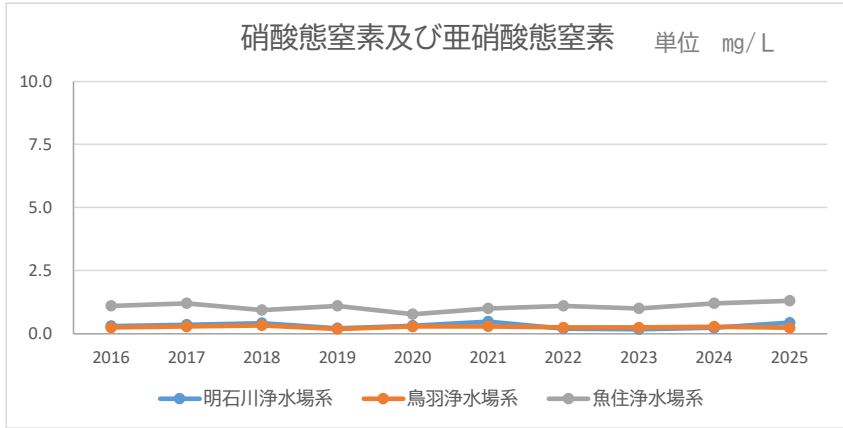


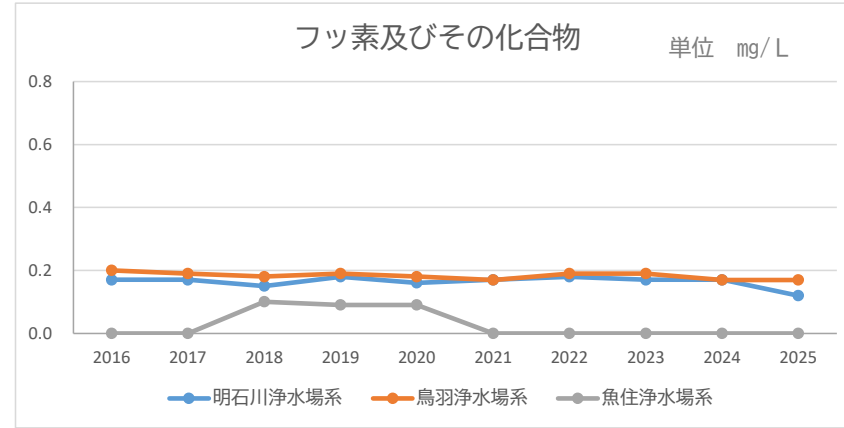
# 経年変化

過去に検出されたことのある基準項目についてグラフ化しています。



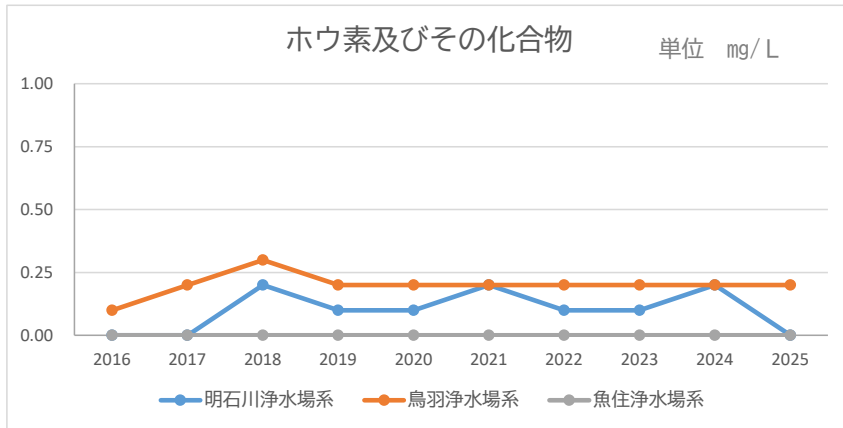
※ グラフ縦軸上の数値は基準値です。表記下限値 0.02mg/L

窒素肥料、腐敗した動植物、生活排水、下水などの混入によって河川水などで検出されます。高濃度に含まれると幼児にメトヘモグロビン血症（チアノーゼ症）を起こすことがあります。水、土壌中で硝酸態窒素、亜硝酸態窒素、アンモニア態窒素に変化します



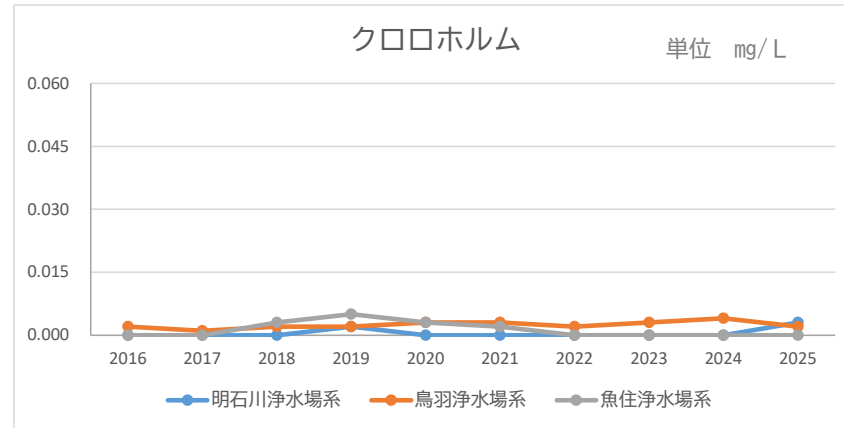
※ グラフ縦軸上の数値は基準値です。表記下限値 0.08mg/L

主として地質や工場排水などの混入によって河川水などで検出されます。適量摂取は虫歯の予防効果があるとされていますが、高濃度に含まれると斑状歯の症状が現れることがあります。



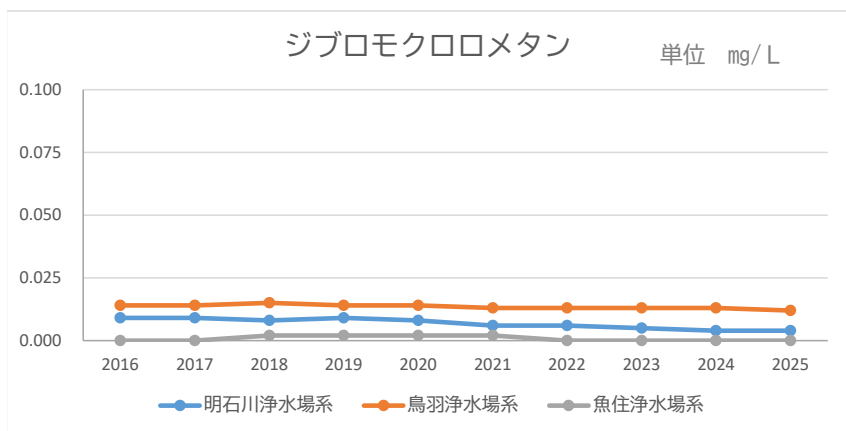
※ グラフ縦軸上の数値は基準値です。表記下限値 0.08mg/L

火山地帯の地下水や温泉、ホウ素を使用している工場からの排水などの混入によって河川水などで検出されることがあります。



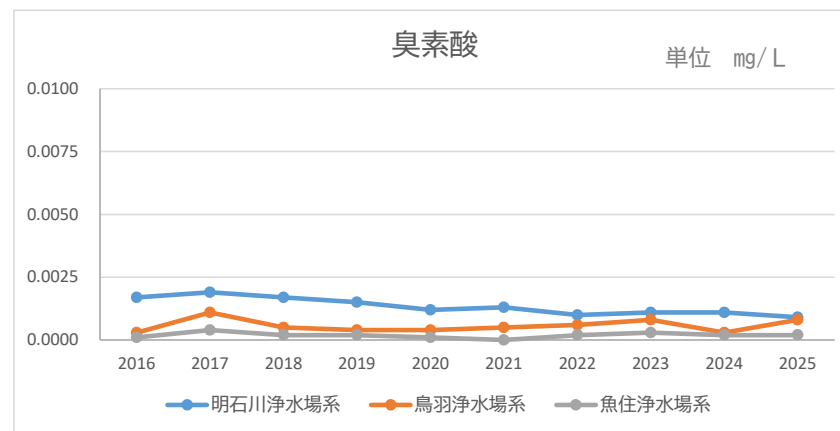
※ グラフ縦軸上の数値は基準値です。表記下限値 0.001mg/L

原水中の一部の有機物質と消毒剤の塩素が反応して生成されます。



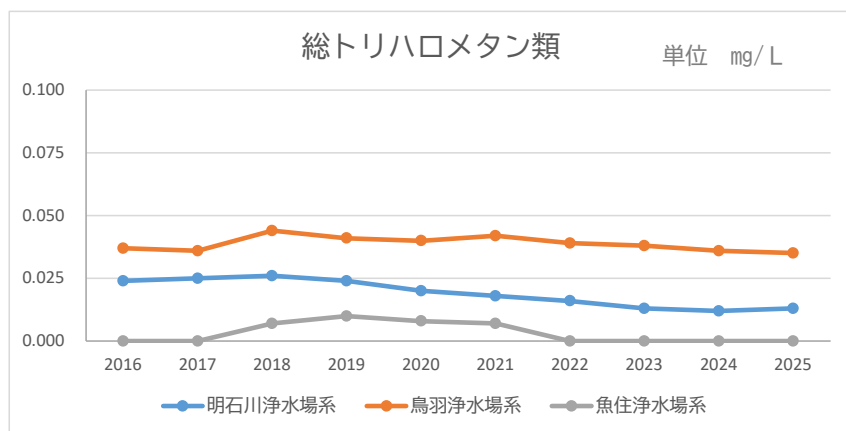
※ グラフ縦軸の上の数値は基準値です。 表記下限値 0.001mg/L

原水中の一部の有機物質と消毒剤の塩素が反応して生成されます。



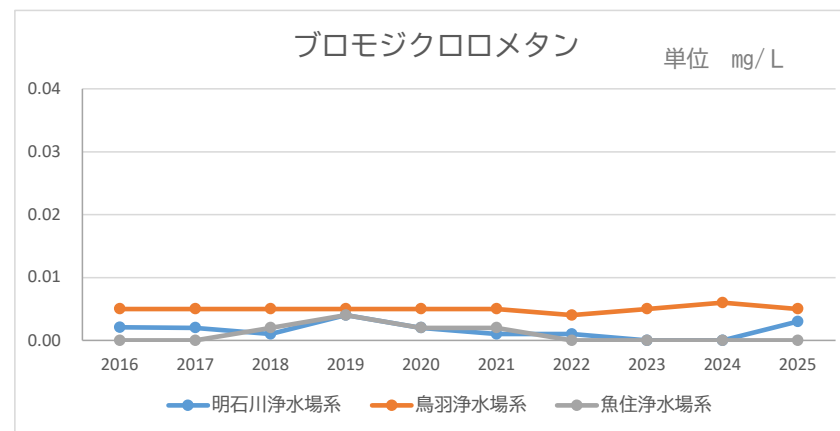
※ グラフ縦軸の上の数値は基準値です。 表記下限値 0.0001mg/L

原水中の臭素が高度浄水処理のオゾンと反応して生成されます。



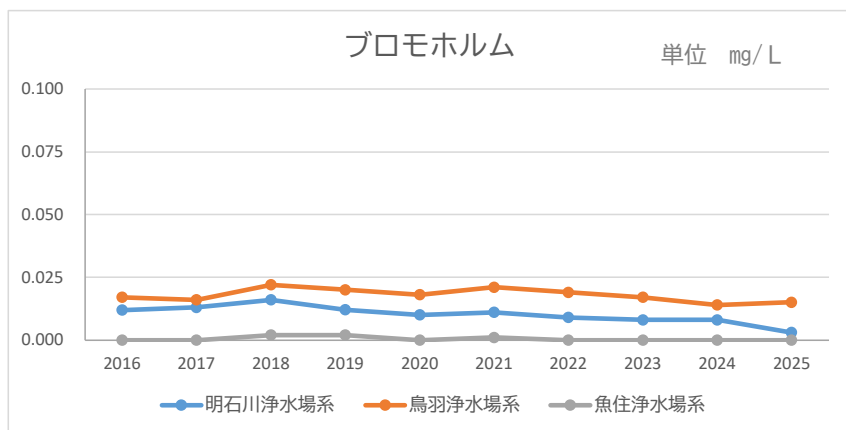
※ グラフ縦軸の上の数値は基準値です。 表記下限値 0.001mg/L

クロロホルム、ジブロモクロロメタン、ブロモジクロロメタン、ブロモホルムの合計を総トリハロメタンといいます。



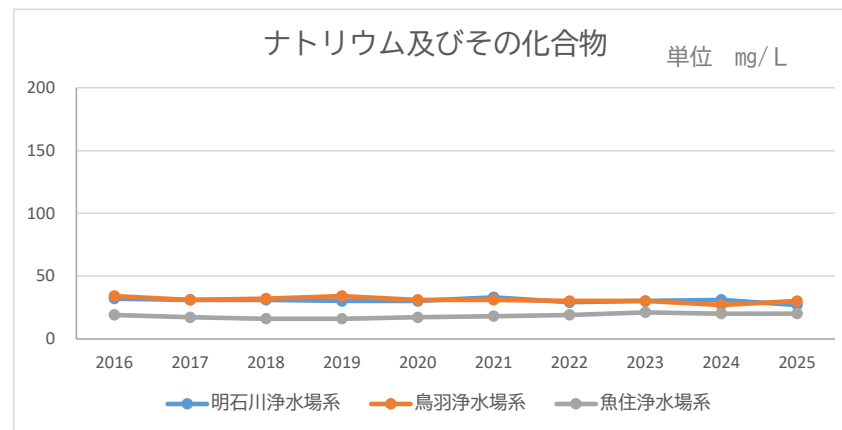
※ グラフ縦軸の上の数値は基準値です。 表記下限値 0.001mg/L

原水中の一部の有機物質と消毒剤の塩素が反応して生成されます。



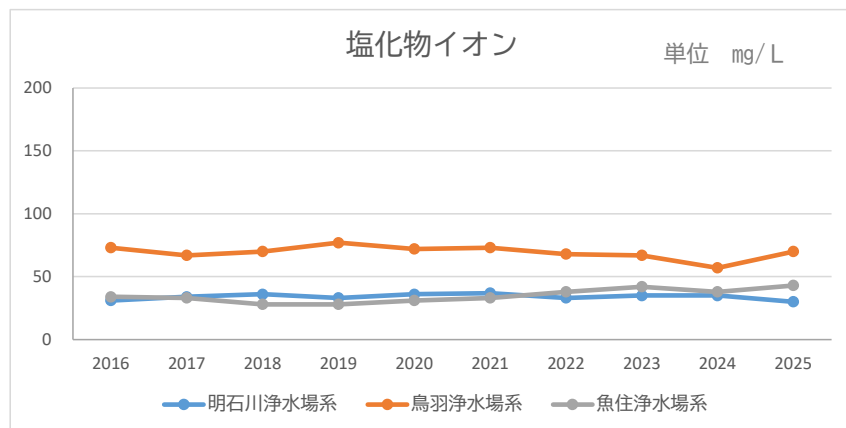
※ グラフ縦軸の上の数値は基準値です。 表記下限値 0.001mg/L

原水中の一部の有機物質と消毒剤の塩素が反応して生成されます。



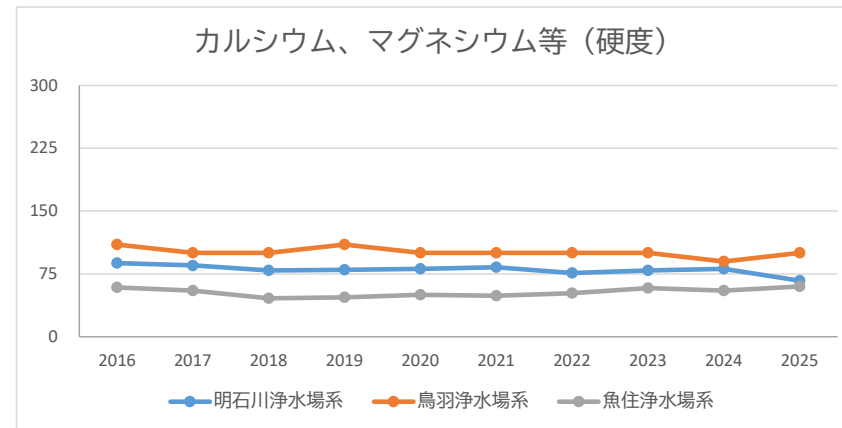
※ グラフ縦軸の上の数値は基準値です。 表記下限値 1mg/L

工場排水や海水、塩素処理などの水処理に由来し、高濃度に含まれると味覚を損なう原因となります。



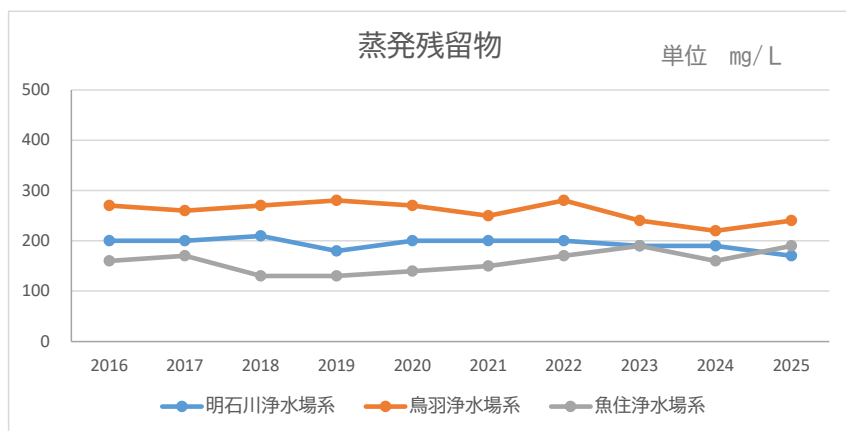
※ グラフ縦軸の上の数値は基準値です。 表記下限値 1mg/L

地質や海水の浸透、下水、家庭排水、工場排水及びし尿などからの混入によって河川水などで検出され、高濃度に含まれると味覚を損なう原因となります。



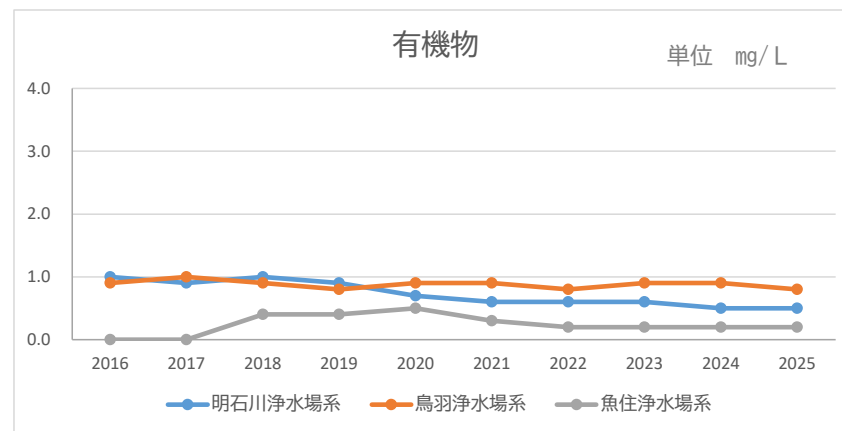
※ グラフ縦軸の上の数値は基準値です。 表記下限値 1mg/L

硬度とはカルシウムとマグネシウムの合計量をいい、主として地質によるものです。硬度が低すぎると淡泊でくのない味がし、高すぎるとしつこい味がします。また、硬度が高いと石鹸の泡立ちを悪くします。



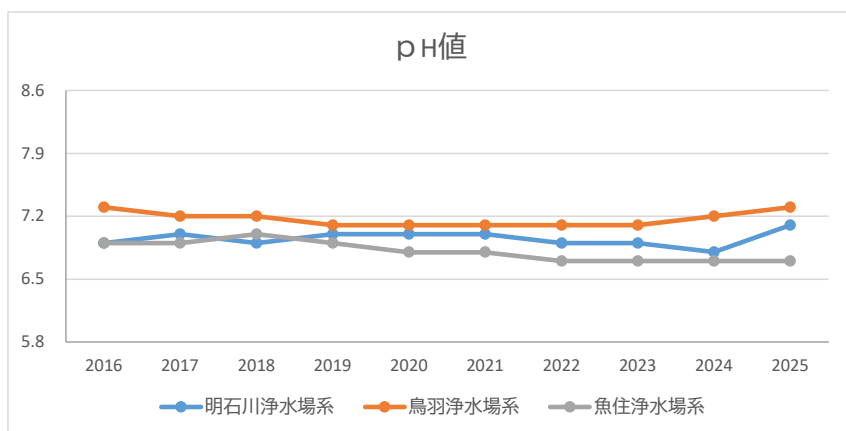
※ グラフ縦軸上の数値は基準値です。 表記下限値 1mg/L

水を蒸発させたときに得られる残留物のことで、主な成分はカルシウム、マグネシウム、ケイ酸などの塩類及び有機物です。残留物が多いと苦み、渋みなどを付け、適度に含まれるとまろやかさを出すとされます。



※ グラフ縦軸上の数値は基準値です。 表記下限値 0.1mg/L

有機物などによる汚れの度合を示し、土壌に起因するほか、し尿、下水、工場排水などの混入によっても増加します。水道水中に多いと渋みをつけます。



※ グラフ縦軸上の数値は基準値上限、下の数字は基準値下限を表しています。

値は0から14。7が中性であることを示し、7より小さければ酸性、大きければアルカリ性であることを示す。